

事務事業名	市道大東阿用線道路改良事業		所属部	建設部	所属課	建設事業課
政策名	総合計画体系 (II)環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり《定住環境》		所属G	工務G	課長名	森田 一
施策名		(07)道路網の整備	担当者名	内田 貴宏	電話番号 (内線)	0854-40-1063 3740
基本事業名	(018)生活道路の新設・整備		予算科目	会計 款 項 目 011 410 110 115 013	中事業	起債道路整備事業

1 現状把握の部

(1)事業概要

①事業期間	②事業の内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度~) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (12年度~24年度)	本路線は、雲南市大東町下阿用地区に位置し県道上久野大東線と主要地方道玉湯吾妻山線を結ぶ路線である。本路線の幅員は3~4mであるため、普通車輛のすれ違いや緊急車輛等の大型車がスムーズに通行することが困難である。そのため、道路幅員を5mに拡幅し交通の利便性を向上させる事業である。	現地は左記の状況であることから、以前より地域住民から強い要望があった。そのため、平成12年より改良事業が開始された。

(2)トータルコスト

		単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (計画)	全体 計画
①事業費の内訳(概要)								
事業費	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円	12,700	21,800	21,600	20,000		279,000
	その他	千円						
	一般財源	千円						
事業費計(A)		千円	12,700	21,800	21,600	20,000	0	279,000
人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2		
	延べ業務時間	時間	400	400	400	400		
	人件費計(B)	千円	1,526	1,555	1,577	0	0	
トータルコスト(A)+(B)		千円	14,226	23,355	23,177	20,000	0	

(3)事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	指標名	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終
				(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	
手段	23年度実績(23年度に行った主な活動) ・物件補償 ・道路改良	⑤ 活動指標							
		ア 道路改良区間延長	m	80	140	100	240		
	イ 供用開始延長	m	1380	1520	1620	1860			
	ウ								
	エ								
	24年度計画(24年度に計画している主な活動) ・支障物件補償 ・道路改良工事								

目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	指標名	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終
				(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	
目的	市民	⑥ 対象指標							
		ア 市民	人	42402	41917	41159	41032		
	イ								
目的	③ 意図(対象がどのような状態になるのか) 安全にすれ違いができ、スムーズに通行できるようにする。	⑦ 成果指標							
		ア 改良済延長	m	80	140	100	240		
		イ 供用済延長	m	1380	1520	1620	1860		
	ウ								
上位目的	④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか) 安全で利便性の高い道路交通網を整備する。	⑧ 上位成果指標							
		ア 道路改良率	%	55.5	55.7	55.9			
	イ 生活道路が安全で便利であると感じる割合	%	58.9	57.1	55.7				

(4)事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
H24年度で完了予定であり、地域住民の利便性は大幅に向上する。	過疎債を財源に充当することで、雲南市の負担を軽減した。	地元より、早期完成を求める声が多く寄せられている。

事務事業名	市道大東阿用線道路改良事業	所属部	建設部	所属課	建設事業課
-------	---------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ すれ違いが円滑にできるようになることは、安全で利便性の高い道路の整備につながっている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 道路認定されている道路である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 市道認定されている道路であるため、適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 地元の協力体制は整っており、用地買収も完了。H24年度で完了予定である。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 現況は道路幅員が狭く安全性の確保が困難である。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 本路線では、過疎債を充当して実施しているが、これ以上有利な財源がないことまた、この起債も箇所別であるため、統合することはできない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 現道を極力利用することにより、経済性のよい道路を計画している。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 関係機関及び用地等の関係者と密接に関わる必要があり、個人情報等も多く含まれるため不可能である。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 市道認定されている道路である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	財政上の都合により複数年度にわたり工事を実施したことにより、道路利用者に対し通行規制等の不便が多く生じてしまった。																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			●	維持			×		低下		×	×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上			●																			
	維持			×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							
従来どおりの事業を行うには、過疎債の借入を受けることが必要である。																							